

令和7年度 第1学年技術・家庭科(技術分野)年間指導計画・評価計画

| 月 | 単元名 | 職 | 評価基準 (1)知識・技能 (2)思考・判断・表現 (3)主体的に学習に取り組む態度 | 評価方法 |
|-------------|---|----|---|--------------------------------|
| 4 | ○技術分野のガイダンス ・学習の見通し ・学習内容の確認 | 2 | (1) ・これからの3年間の学習についての流れを理解した。 (3) ・これから始まる学習について主体的に取り組もうとする姿勢を持てた。 | 授業観察 学習プリント 定期考査 等 |
| 5 | 4編 「情報の技術」 1章 生活や社会を支える情報の技術 1身の回りの情報の技術 2コンピュータの仕組み 3.情報のデジタル化 4.情報通信ネットワークの仕組み 5 情報セキュリティの仕組み 6.情報モラル | 2 | (1) ・情報機器を構成する仕組みが理解できている ・情報をデジタル化する考え方が理解できている。 ・通信ネットワークの仕組みを理解できている (2) ・情報機器の技術の発達(変化)を理解し、その技術によって生活や社会の変化を考えることができる。 ・情報の特性を理解し、その長所、短所を考えることができている (3) ・学習を通して知っていた知識をデジタル機器の正しい管理・活用へと活かすことができている | 授業観察 学習プリント 作品 定期考査 等 |
| 6 ～ 1 | 1編 「材料と加工の技術」 1章 生活や社会を支える材料と加工の技術 1.身の回りの材料と加工技術 2.材料の特性と加工方法 3.丈夫な製品を作る工夫 4.材料と加工の技術の問題解決の工夫 2章 材料と加工の技術による問題解決 ・課題設定 ・構想、設計(製図)、模型、製作、仕上げ 3章 社会の発展と材料と加工の技術 1.材料と加工技術の最適化 2.これからの材料と加工の技術 | 27 | (1) ・それぞれの材料が持つ特性を理解している。 ・平面と立体の違いを理解し、説明できる。 ・図の特徴を理解し、簡単な図を描くこと、読み取ることができる。 ・目的達成のための手順を理解している。 ・手順に沿った製作ができる。 (2) ・立体を見る視点を考えることができる。 ・自分の考えた構想を人に理解できるものとして表現できる。 ・材料の特性と適切な場所、および使用方法を考えることができる。 ・材料に合った加工方法を考え、適切な工具を判断できる。 (3) ・学習した図に関心を持ち、社会の中の様々な利用方法に気付くことができる。 ・主体的に取り組む製作物(課題)の完成という目標に向けた取り組みができている。 ・学習を通して知識で、身の回りの製品に関心を持ち、その使われ方や加工技術を主体的に考えることができる。 ・材料と加工技術の過去や未来を考え、自分たちの未来へと地球環境も含めて意識し、考えることができている。 | |
| 2 ～ 3 | 2編 「生物育成の技術」 1章 生活や社会を支える生物育成の技術 1.身の回りの生物育成の技術 2.作物の育成環境を調節する技術 | 4 | (1) ・生物育成の目的について理解できている。 (3) ・生物育成の特徴について考え、まとめることができている。 | 授業観察 学習プリント 等 |